

# 栃木県職員ガイド2019

あなたの**魅力**を  
とちぎの**元気**に!

栃木県人事委員会ホームページ

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>

栃木県職員採用

検索



VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ



## 知事メッセージ

私たちの郷土“とちぎ”は、四季折々の美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、美味しい水、そして生産量50年連続日本一のいちごをはじめとする多彩な食などの魅力にあふれ、都心へのアクセスも良く、ものづくりをはじめ多様な産業がバランス良く発展し、一人当たりの県民所得は全国第4位で、地震や台風などの自然災害が極めて少ないことから、住む人が豊かさや快適さに加え、安心も実感できる県でもあります。

現在、栃木県では、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」などにより、UIターン推進や女性が働きやすい職場環境の整備、「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンを実施する他、関西圏等における情報発信力の強化や「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」、「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」に向け、とちぎを元気にする取組を進めています。

「栃木県職員ガイド」は、とちぎの魅力・実力に更なる磨きをかけるために活躍している職員を紹介し、栃木県の概要、県庁の業務について理解を深め、栃木県職員としての仕事のやりがいを感じていただくために作成したものです。

とちぎを元気にしたいという想いを持つ皆さん。あなたの“活躍できる場所”はここにあります。私たちと一緒にこれからの“とちぎ”づくりに取り組んでみませんか。

平成30(2018)年12月

栃木県知事 福田 富一

## 釜飯倶楽部で会いましょう



若手職員の新しい発想・感覚を積極的に県政に活かすため、私と若手職員が直接話し合う「釜飯倶楽部」を開催しています。

これからの時代「元気なとちぎ」を創っていくには、若い世代の感覚が必要不可欠であり、毎回、どんなアイデアが出てくるのか楽しみにしながら、倶楽部に参加しています。

これまで、「県庁ライトダウンデー(残業をしない全庁一斉消灯日)」や「県庁舎での結婚式」など、倶楽部から生まれた様々なアイデアを実現してきました。

最近では、倶楽部から生まれたアイデアにより、冊子で配布していた栃木の旅をおトクに楽しめる「本物の出会い 栃木パスポート」を電子版化して配信し、より手軽に利用できるようになりました。

「釜飯倶楽部」終了後の懇親会では、参加者全員で「釜めし」と「地酒」を食します(まさしく「同じ釜の飯を食う」)。若い職員と語り合う時間は実に楽しく、たくさんのエネルギーをもらえます。このガイドを手にした皆さんもチーム栃木県庁の一員になり、釜飯倶楽部で会えることを楽しみにしています。

## 栃木県が求める人材

高い意欲と実行力を備えた **「挑戦する職員」**

栃木県職員としての使命感を持った **「信頼される職員」**

県民起点の発想で、県民と連携協力できる **「協働する職員」**

# とちぎの魅力・実力

## とちぎは首都圏の“食のオアシス”

- ◆ **いちご王国(50年連続生産量日本一)**  
高級いちご「スカイベリー」、多くの人に親しまれる「とちおとめ」、夏秋用「なつおとめ」など
- ◆ **「とちぎ和牛」は通もうなる**  
品質の高さは全国コンクールで折り紙つき
- ◆ **全国トップクラスのおいしさ「とちぎのお米」**  
米の食味ランキングで県オリジナル品種「とちぎの星」が最高評価の特Aを獲得

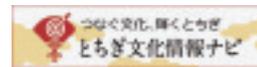


## とちぎが生む“多様な工業製品”

- ◆ **ものづくり県 とちぎ**  
大手企業や技術力の高い中小企業が集積し、県内総生産に占める製造業の割合は全国2位
- ◆ **MADE IN とちぎ**  
「MADE IN とちぎ」の車が世界を走り、飛行機が世界の大空を飛び、医療機器が世界で活躍
- ◆ **国内を代表する「有力企業が立地」**

## とちぎが誇る“優れた歴史・文化”

- ◆ **世界が認めた歴史遺産**  
「日光の社寺」(日光二荒山神社、日光東照宮、日光山輪王寺の二社一寺)は世界文化遺産
- ◆ **日本最古の学校**  
「足利学校」は室町時代にザビエルが西欧に「日本最大の坂東の大学」と紹介
- ◆ **ユネスコ無形文化遺産**  
「結城紬」、「烏山の山あげ行事」、「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」



## とちぎは恵まれた県土

- ◆ **県民所得(1人当たり) 4位(3,481千円)**
- ◆ **住宅敷地面積(1住宅当たり) 4位**
- ◆ **交通の要衝**  
東京まで新幹線でわずか50分。  
東北道・北関東道に加え、圏央道の利用で、国内各地・空港への移動もスムーズ
- ◆ **自然災害が少ない**  
大規模な自然災害が比較的少なく、寒暖の差が33.0℃と大きくはっきりした四季を楽しめる

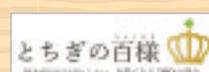
## とちぎの豊かな自然環境

- ◆ **バランスの良い緑の大地**  
国立公園面積は全国4位、平地と山地が仲良く共存
- ◆ **自然は“世界級”**  
世界に誇る日光国立公園は、ラムサール条約湿地「奥日光の湿原」、日本三名瀑「華厳滝」で有名



詳しくは県HPを参照ください。

- **VERY GOOD LOCAL とちぎ**  
本県のブランド力向上のため、とちぎのグッドローカルな魅力を紹介しています。
- **とちぎの百様**  
後世に残したい、大切にしたい、自慢できる本県の100の地域資源に関する情報を掲載しています。



# 栃木県庁の組織

部局ごとの仕事の内容をチェック!

	部局名	仕事の概要
知事 副知事	総合政策部	重要な政策の企画立案や、組織横断的な課題に迅速かつ的確に対応できるよう、県行政の総合調整を行っています。また、市町村を支援する仕事や地域の振興、土地の計画的な利用に関する仕事をしています。
	経営管理部	予算の編成や職員に関すること、行政改革の推進、税の徴収、文書や県有財産の管理、電子県庁の推進など、県庁の運営に関する仕事をしています。
	県民生活部	協働の推進や文化の振興、人権啓発、青少年の健全育成や男女共同参画の推進、防災・危機管理、消費者保護・交通安全など安全で安心な県民生活の確保の仕事のほか、広報、統計調査に関する仕事をしています。
	環境森林部	地球温暖化対策や循環型社会の推進、大気や水などの地域環境や自然環境の保全、廃棄物対策などの仕事と、森林づくりや林業・木材産業の振興に関する仕事をしています。
	保健福祉部	県民の健康づくり、病気の予防や医療に関すること、高齢者・児童・障害者など県民の福祉の向上を図る仕事や生活衛生の向上に関する仕事をしています。
	産業労働観光部	中小企業に対する融資や経営・技術の支援、新規産業の育成や企業誘致の仕事のほか、国際化への対応や観光の振興、産業人材の育成や雇用の確保などの仕事をしています。
	農政部	農業・農村の振興を図るため、優れた農業の担い手の確保・育成や農地等の生産基盤の整備、経営の安定化対策、新技術の開発普及、農村環境の整備などの仕事をしています。
	県土整備部	経済の発展や安全安心な暮らしを支えるため、道路を作ったり、河川を管理するほか、土地区画整理、公園、下水道整備、公共交通体系の整備など、快適な県土づくりの仕事をしています。
	会計局	県公金の出納及び決算、物品の調達・管理及び処分等に関する仕事をしています。
	企業局	水力発電による電力の供給や水道用水・工業用水の供給、産業団地等の造成・分譲など、県民のライフラインや産業インフラ等を支える地方公営企業の仕事をしています。
県議会	議会事務局	予算や条例など県政の重要な事項を決定する本会議や常任委員会等の運営、議事録の作成、議案の調査等に関する仕事をしています。
人事委員会	人事委員会事務局	職員の採用試験、職員の給与等の勧告、職員の不利益処分に関する審査請求等に関する仕事をしています。
監査委員	監査委員事務局	県の財務に関する事務の執行等の監査に関する仕事をしています。
労働委員会	労働委員会事務局	労使間の紛争に対し、公平・中立的な立場から解決を図るための仕事をしています。
公安委員会	警察本部	安全で安心な地域社会をつくるため、犯罪の予防・捜査、交通取締り、運転免許証の交付などの仕事をしています。
教育委員会	教育委員会事務局	県民が生涯にわたって、学校や家庭、地域など様々な場できいきと学ぶことができるよう、教育・文化・スポーツを盛んにするための仕事をしています。
選挙管理委員会		
内水面漁場管理委員会		
収用委員会		

## 職員数・組織数 (平成30(2018)年4月1日現在)

### ●職員数

一般行政部門……4,304人  
警察部門……3,878人  
教育部門……15,054人  
公営企業部門……448人

### ●組織数(知事の事務部局)

本庁……8部1局62課室  
出先機関……75

# 栃木県職員職種一覧

主な職種を掲載しています! ここにない職種もあります!

職種 (職員数 H30(2018).4.1現在)	主な業務内容	主な勤務場所
P5・7に 掲載 <b>行政</b> (2,667人)	各種施策の企画立案や事業の推進、予算編成・執行、庶務、県税の賦課徴収、公共事業用地の買収交渉、許認可、市町指導など、様々な分野で幅広い業務に従事します。	知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校
P8に 掲載 <b>薬剤師</b> (91人)	医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究、県立病院での調剤業務を行います。	薬務課、生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター、県立病院
P6に 掲載 <b>化学</b> (112人)	産業廃棄物や地球温暖化などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。	環境森林政策課、地球温暖化対策課、環境保全課、廃棄物対策課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター
P7に 掲載 <b>農業</b> (351人)	農業施策の企画立案、農地の利用集積や農業の担い手の確保・育成、新品種及び農業生産技術の開発などの試験研究のほか、新技術や経営改善の普及指導などを行います。	農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校、農業環境指導センター
P5に 掲載 <b>畜産</b> (69人)	畜産物の生産拡大、流通加工促進、ブランド力強化など畜産業振興施策の企画立案や、生産技術指導、試験研究の業務に従事します。	畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター
P5に 掲載 <b>林業</b> (187人)	森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの業務を行います。	環境森林政策課、自然環境課、林業木材産業課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター
P9・10に 掲載 <b>総合土木</b> (153人)	平成24年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された者は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。	主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します
<b>農業土木</b> (111人)	農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道・農業水利施設の整備保全、農村振興、農村環境整備などの業務に従事します。	農村振興課、農地整備課、農業振興事務所
<b>土木</b> (380人)	道路・河川の整備や保全、街路・下水道事業の推進や、区画整理や開発行為などの都市計画上の指導・認可を行うなど、社会資本形成の一翼を担っています。	県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所、企業局
P8に 掲載 <b>建築</b> (72人)	市街地の再開発など都市機能の向上に関する施策や、県有施設建設の設計・施工・監理や営繕業務、建築指導などに携わります。	建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所
P8に 掲載 <b>電気</b> (91人)	発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。	企業局(電気課、水道課、水道事務所、今市発電管理事務所)、産業技術センター、建築課
P6に 掲載 <b>機械</b> (63人)	県有施設の設備の設計や営繕などの維持管理のほか、試験研究機関での技術研究や産業技術専門学校において技術者の育成などを行います。	建築課、計量検定所、産業技術センター、産業技術専門学校、企業局
<b>心理</b> (45人)	児童相談所などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。	児童相談所、精神保健福祉センター、那須学園、県立病院、障害者総合相談所
<b>水産</b> (15人)	水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術の開発、水域環境・生態系の保全技術の確立及び地域振興につながる水産資源の活用方策などの研究を行います。	農村振興課、水産試験場、農業振興事務所
P6に 掲載 <b>保健師</b> (127人)	地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と体の健康を守る仕事です。	医療政策課、健康増進課、健康福祉センター、衛生福祉大学校、県立病院
<b>臨床検査技師</b> (45人)	病院で臨床検査に従事するほか、健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査を行います。	県立病院、健康福祉センター、保健環境センター
<b>管理栄養士</b> (17人)	病院における患者の栄養管理等のほか、健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。	健康増進課、県立病院、健康福祉センター
<b>栄養士</b> (県立学校勤務2人)	献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校では、子どもたちの成長をサポートします。	特別支援学校、定時制高校
<b>栄養士</b> (小・中学校勤務84人)	※小中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。	市町立の小学校、中学校、義務教育学校、給食センター
<b>司書</b> (7人)	図書館において、各種図書館資料の選定、収集、分類、貸出しや読書案内、相談等の業務に従事し、利用者のニーズに対応したサービスを提供しています。	県立図書館
<b>保育士</b> (15人)	児童相談所や児童自立支援施設において、児童の生活援助、学習・体育指導などに従事します。	児童相談所、那須学園
<b>職業訓練指導員</b> (39人)	産業技術専門学校等において、就職等に必要の技能・技術の指導や、就職支援等の職業訓練指導の業務に従事します。	労働政策課、産業技術専門学校
P10に 掲載 <b>獣医師</b> (142人)	家畜伝染病対策をはじめとする家畜の保健衛生に関する指導・防疫、試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。	生活衛生課、畜産振興課、家畜保健衛生所、健康福祉センター、食肉衛生検査所、動物愛護指導センター、畜産酪農研究センター
P10に 掲載 <b>警察行政</b> (464人(定数))	警察内の会計事務や情報管理、装備品の調達、鑑識業務、各種申請の受理審査業務等を行います。いずれも警察活動を推進する上で、重要な役割を担っています。	警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校
<b>小中学校事務</b> (543人)	給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理を行います。学校運営を側面から支える仕事です。 ※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。	市町立の小学校、中学校、義務教育学校



# 職種紹介

ここからは、職種ごとに先輩職員を紹介します。

ワーク ライフ バランス  
**My♡WLB**  
旅行も楽器演奏も  
子どもと全力で  
楽しんでいます！

## 行政

産業労働観光部  
経営支援課  
中小・小規模企業支援室

### 岸本 舞

Mai Kishimoto

●異動経歴●

H18～  
栃木県立岡本台病院 総務課  
H21～  
職員厚生課 共済給付担当  
H28～  
現所属



## 笑顔あふれる「とちぎの未来」のためにチャレンジ!

### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

商工団体に関する業務や企業の災害対応力向上を目的としたBCP(事業継続計画)策定支援プロジェクト、企業向けの研修情報発信サイトなどを担当しています。若手職員が多い職場のため、とても活気があり、若手の意見や新しいアイデアなども柔軟に受け入れてもらえる風通しの良い雰囲気があります。

### Q.やりがいを感じる時は?

民間企業や商工団体と協働して「栃木県BCP策定支援プロジェクト」を進めています。立場を超えた連携を通して得られる多くの気付きや学びがあり、新たな取組へのチャレンジにつながる好循環を日々実感しています。行政職は異動の度に様々な部署を経験するため、仕事を通じた学びや人との出会いの機会に恵まれていると感じます。県庁内外の多様な考え方に触れることで、自分自身が大きく成長できることは県職員の魅力です。

### Q.女性職員の働きやすさは?

育児で残業をすることが難しい私に対し、尊敬する上司が掛けてくれた「勤務評価は定時までの仕事とする」という言葉がとても印象に残っています。子育てと仕事の両立は大変なことも多いですが、周囲のサポートのおかげで仕事と子育てを両立できているので、感謝の気持ちを忘れずに、将来的には子育て中の職員を積極的にサポートしていきたいです。



## 県産農畜産物を、国内外の消費者へ届けます!

### Q.現在の担当業務は?

県産農産物の輸出拡大を目指し、海外におけるプロモーションやテストマーケティング、輸出を志す生産者の支援など、海外販路の獲得に向けた取組を担当しています。海外の卸業者や小売店を訪問して直接PRすることも多く、さながら県産農産物のセールスマンのようです。私は畜産職ですが、現在の業務では牛肉のほか、果物やコメ等、様々な品目の輸出に携っており、職員としての知識や経験を深めるいい機会になっています。

### Q.異動する時の不安はある?

実は英語が苦手です。海外渡航経験もほとんどなく、「なんで私が輸出の担当に…」と思ったこともありました。しかし、多くの方々から協力していただき、前向きに仕事を進めることで、成果を上げることができました。技術系職員の仕事は試験研究や現場での技術指導を想像するかもしれませんが、本庁での勤務もあり、それぞれの職場で必要なスキルを身につけていくことができます。

### Q.やりがいを感じる時はどんな時?

民間企業と異なり、自社商品を販売して利益を追求する業務ではありません。このため、より客観的な視点で自らの業務を捉え、長期的に県民のためになる仕事を考えることができます。それを形にし、実行できるところにやりがいを感じます。



ワーク ライフ バランス  
**My♡WLB**  
休みの日は子どもと  
家でまったり♪

## 畜産

農政部 経済流通課  
農産物ブランド推進班  
輸出促進チーム

### 岩崎 浩之

Hiroyuki Iwasaki

●異動経歴●

H15～  
畜産振興課 生産流通担当  
H17～  
畜産振興課  
全日本ホルスタイン共進会担当  
H18～  
畜産試験場 企画経営部  
H22～  
畜産振興課 環境飼料担当  
H26～  
現所属



## 林業

環境森林部 林業センター  
研究部

### 保科 裕紀子

Yukiko Hoshina

●異動経歴●

H17～  
矢板林務事務所  
治山林道課  
H22～  
県西環境森林事務所  
森づくり第三課  
H25～  
現所属

ワーク ライフ バランス  
**My♡WLB**  
息子の学童野球に夢中!

## とちぎの豊かな森林を、未来へつなぐ

### Q.これまでどのような業務を担当?

山崩れ、土石流などを予防・復旧するための森林土木工事の設計や現場監督、また、重要な役割を果たしている森林の機能が失われないよう保安林に指定する業務などを担当してきました。現在は、スギ・ヒノキの種子や苗木に関する試験研究をしています。栃木県では全国に先駆けてスギの苗を全てコンテナ苗へ切り替えており、その苗の生産手法の改良や、花粉症対策として花粉の少ないスギ・ヒノキ種子の早期安定生産技術の確立に取り組んでいます。

### Q.やりがいを感じる時はどんな時?

工事で自分が設計・現場監督したものが完成した時や、大雨の後などに役立っている姿を見た時です。試験研究でも、花粉症対策について県民の皆様から研究内容や成果を説明して「よろしく頼むよ!」と応援してもらった時は、責任とやりがいを感じました。

### Q.女性の視点から見た県庁って?

育児のため時間外勤務は難しく、急な休みを取ることもあるので、自分が不在でも仕事が滞ることのないよう常に情報共有を心がけ、自分の状況を日々周囲に伝えていきます。上司や同僚も共働きだったり、子育て経験があったりと理解がある方が多いので、とても働きやすいです。



## 未来につなげ!とちぎの環境と産業

### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

主に産業廃棄物処理に関する許可や事業者指導を担当しています。申請の審査や事業場への立入検査のほか、不法投棄・不適正処理事業への対応も行っています。また、これまでに工場排出ガスのダイオキシン類分析等の試験研究や光化学スモッグ発令、放射能対応、下水道施設の維持管理など様々な業務を経験してきました。また、職場は皆が担当業務を責任感を持って行っていますが、疑問や問題等が生じた場合は先輩や上司に相談し、皆で解決していくという雰囲気です。

### Q.「信頼される職員」として印象的だったことは?

東日本大震災に起因する放射能対応時、不安に感じている県民からの問合せに対し、安易に安心するよう言うのではなく、何が分かっている、何が不明であるかを説明した上で、県民の皆さんと真剣に向き合った結果、「問題は大きい信頼する」と言ってもらえたことがとても印象に残っています。

### Q.民間企業で働く場合との違いは?

一企業での取組では限界があることに挑戦できることです。また、栃木県をより良くしようと施策を立案・実行していけることは民間との大きな違いでもあり、県職員の魅力でもあります。法令に基づく指導を行うだけでなく、より事業がしやすいよう技術的な助言を行って事業者の役に立てた時は大きなやりがいを感じます。



ワーク ライフ バランス  
**MyWLB**  
同僚とつくった野球チームで、  
目指せ!健康ボディ!!

## 化学

環境森林部  
小山環境管理事務所  
環境対策課

### 泉 陽誉

Takayasu Izumi



#### ●異動経歴●

- H19～ 保健環境センター 化学部
- H22～ 環境保全課 大気環境担当
- H25～ 都市整備課 下水道室
- H28～ 現所属

## 機械

産業労働観光部  
工業振興課  
ものづくり企業支援室

### 藤沼 誠人

Masato Fujinuma

#### ●異動経歴●

- H20～ 産業技術センター  
機械電子技術部
- H24～ 産業技術センター  
技術交流部
- H28～ 現所属

ワーク ライフ バランス  
**MyWLB**  
休日は剣道でリフレッシュ!  
あなたも県庁剣道愛好会へ!!

## 専門性を活かして施策立案と事業を実施します

### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

本県の重点振興産業分野の一つである医療機器産業の振興を担当しています。県内にある医療系大学とタイアップしたマッチング事業や大規模展示会への出展支援など、ものづくり企業が新たな医療機器の開発や医療機器メーカーとの取引が拡大できるような施策・事業を立案し、実施しています。県内経済の発展のために県はどのような支援ができるか、日々みんなディスカッションし、職場は活気にあふれています。

### Q.「挑戦する職員」としてチャレンジしたことは?

産業技術センターで地方創生加速化交付金の申請を担当し、計画書の作成や共同で申請する他自治体等の関係機関との調整に奔走しました。日々、企業の技術課題解決に従事する専門性を活かしつつ、これまでに携わったことのない国の交付金事業にチャレンジすることができ、とても良い経験になりました。

### Q.県職員としてのやりがいや魅力は?

自ら企画立案した事業で予算を獲得できた時や、事業を実施して成果が上がったときにやりがいや達成感を感じます。また、民間企業では、その業界での設計や生産技術のスペシャリストとして活躍できますが、幅広い業種の企業と関わることができ、様々な知識・経験が得られることは県職員の魅力だと感じます。



## 栃木県民の健康を支えます

### Q.これまでにどのような業務を担当?

現在は、国民健康保険に関わる業務に従事しています。主に特定健診・特定保健指導、市町が行う保健事業の推進に向けた支援を行うため、県全体の健康課題の分析や体制整備等に携わっています。

### Q.印象に残っていることは?

東日本大震災の際、宮城県に1週間派遣され、全戸訪問による健康調査を経験しました。初めてのため不安もありましたが、「栃木県」と書かれた作業着を着て歩いていると何ども優しく声をかけてくださった被災者の方々の関わりや、被災地に入っている様々な支援チームの活動を間近に見たことが印象に残っています。災害支援の経験を積めたことは大変貴重な経験となっています。

### Q.県職員ならではの!と思うことは?

行政保健師は、家庭訪問など地域住民の生活の場に入った活動を通して、地域の健康課題を把握し、施策化につなげることができる、やりがいのある仕事です。精神・母子保健、感染症・難病対策、その他にも健康づくりや生活習慣病等の健康に関するデータ分析等幅広く、専門的かつ広域的で多様な対応が期待されています。県民に寄り添い、その人らしい暮らしを支えることができる、とても大切な仕事です。



ワーク ライフ バランス  
**MyWLB**  
職場の仲間と  
山登り!

## 保健師

保健福祉部 国保医療課  
医療保険担当

### 玉木 志保

Shiho Tamaki

#### ●異動経歴●

- H17～ 安定健康福祉センター  
健康対策課 栄養難病担当
- H21～ 県南健康福祉センター  
健康福祉課 精神保健福祉担当
- H23～ 県南健康福祉センター  
健康対策課 感染症予防担当
- H25～ 保健福祉課 人材育成担当
- H26～ 医療政策課 看護職員育成担当
- H28～ 安定健康福祉センター 健康支援課
- H30～ 現所属





## 行政

議会議務局 総務課  
総務担当

### 小倉 宏紀

Hiroki Ogura

●異動経歴●

- H21～  
教育委員会事務局  
文化財課 杉並木保護担当
- H24～  
総務省自治行政局  
公務員部 公務員課  
給与能率推進室へ派遣
- H26～  
市町村課 行政担当
- H29～  
現所属

ワーク ライフ バランス  
**My♡WLB**

平日も週末も親子の時間を楽しんでいます！

## 幅広い業務経験で、とちぎの未来を支える

### Q.これまでのどのような業務を担当？

文化財課では日光杉並木保護のための木柵設置に関する業務を、総務省と市町村課では地方公務員の給与や定員等に関する業務を担当しました。現在は、議会議務局で、大規模災害が発生した際に栃木県議会としてどのように対応するかを定める災害対応計画の策定に関する業務を担当しています。

### Q.印象に残っていることは？

総務省に2年間派遣された時です。国会対応等では短い時間で資料を準備することが求められる等、仕事は厳しかったですが、時間内で優先順位をつけて作業をすることやポイントを絞った資料を作成すること等、仕事の進め方はとても勉強になりました。これらの経験は県庁に戻ってからも活かしています。また、外から栃木県を見ることができたり、他の自治体から派遣された職員と交流することができたりと大変有意義な経験でした。

### Q.職場の雰囲気は？

今の職場では私が最年少ですが、打合せの際など自分の考えを遠慮なく伝えることができる、とても雰囲気の良い職場です。また、子どもが生まれた際には1ヶ月程度育児休業を取得しました。当初、育児休業取得には不安もありましたが、職場の上司からは取得を積極的に勧めいただき、同僚の方も快く賛成してくれました。



## 農業者とともにとちぎの農業の未来を創る

### Q.現在の担当業務は？

環境保全型農業を推進するため、普及指導員として農業者の経営支援を担当しています。環境にやさしい農業の推進のほか、様々な角度から農業経営におけるリスクを評価し改善するGAP(農業生産工程管理)の支援や、農作物の野生鳥獣による被害対策等を行っています。日々現地に赴き農業者に有用な情報を提供するとともに、農業者の生の声を聞き、現地の課題を把握しそれをどのように解決していくかを考え実践しています。

### Q.「協働する職員」に重なるエピソードは？

野生鳥獣による農作物被害の軽減のため、被害を受けた農家や地域住民、また地元市町村職員と農協、さらに専門家の方と協働し、事業説明・対策を行っています。コーディネート力を発揮し、地域一体となってセンサーカメラや罠を設置し、情報を地図上に落とし込み、今まさに解決に向けて取り組んでいるところです。

### Q.仕事をする上で心がけていることは？

民間企業経験後に入庁したので、県職員としての経験値の低さをカバーするため、どんな仕事も自分自身の成長のためと思い、部内の連携を図り、前向きに取り組んでいます。そして、各仕事において農業者のためにどうすれば良いのかについて、目的とゴールを客観的視点で捉えるよう心がけています。



ワーク ライフ バランス  
**My♡WLB**

平日も子どものイベントには欠かさず出席！

## 農業

農政部 芳賀農業振興事務所  
経営普及部 経営指導担当

### 別府 奏歌

Kanaka Beppu

●異動経歴●

- H21～  
塩谷農業振興事務所  
経営普及部 農畜産課
- H22～  
塩谷南那須農業振興事務所  
経営普及部 農畜産課
- H28～  
現所属



そこが知りたい！

## 県庁の子育て制度

栃木県では、男性職員も、女性職員も、子育て中の職員も、そうでない職員も、職員一人ひとりが仕事にも子育てにも喜びが見いだせる職場、互いに支援し合える職場、誰もが生き生きと働ける職場を目指し、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。

主な制度等	男性	女性	内容・利用期間等
出産休暇(産前産後休暇)		○	産前8週間、産後8週間
妻の出産休暇	○		入院等の日から出産の日後2週間以内に3日の範囲内、時間単位の取得も可能
妻の出産時の子の養育休暇	○		出産の前後8週間の間で5日の範囲内、時間単位の取得も可能
育児休業	○	○	子が3歳に達する日まで
育児のための部分休業	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合:1日を通じて2時間を超えない範囲内
育児短時間勤務	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合:希望する日及び時間帯において短時間勤務することが可能
育児時間休暇	○	○	2歳未満の子どもを養育する場合:1日2回を超えず合計90分の範囲内
子の看護休暇	○	○	中学校就学前の子を看護する場合: 5日の範囲内(小学校就学前の子が複数いる場合は10日)、時間単位の取得も可能

また、男性職員の育児参加を促進するための「男性職員の育児参加プログラム制度」などもあります。平成29(2017)年度的一般部門における育児休業の取得率は、女性職員100%、男性職員は6.5%であり、平成30(2018)年度には10名の男性職員が育児休業を取得しています。

ワークライフバランス  
My♡WLB

夏季休暇を使って  
海外旅行!

## 多彩なフィールドで、薬剤師の能力をフル活用

## 薬剤師

保健福祉部 業務課  
薬事審査担当

田村 貴美恵

Kimie Tamura

●異動経歴●

H24～  
安定健康福祉センター  
生活衛生課  
H27～  
県西健康福祉センター  
生活衛生課  
H30～  
現所属



### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

現在は、医薬品、化粧品などの製造業者に対する監視指導、広告監視や登録販売者試験の実施を担当しています。医薬品等の品質・安全性の確保や県民の健康被害、厳正な試験の実施など、どの業務もやりがいとともに、大きな責任が伴いますが、相談しやすい上司・同僚ばかりなので、分からないことや不安なことを解決しながら業務を進めています。

### Q.印象に残っていることは?

薬物乱用防止講演を行った中学校の校長先生に「生徒のレベルに合った、分かりやすい講演でした」と褒めていただいたことです。これまでも、飲食店や薬局、理・美容所、クリーニング業の許認可及び監視指導や不正けしのパトロール、温泉調査などの業務を経験しましたが、多様な業務を経験できることが県職員の魅力だと思っています。

### Q.「信頼される職員」として取り組んだことは?

特に広域健康福祉センターで業務をしていた際、「口うるさい保健所」という抵抗感から業者の方に指導を聞き入れてもらえないことがありました。しかし、相手をその道のプロと敬意を払い、指摘するだけでなく良い部分は評価するなど信頼関係を構築し、理解を得ることができました。



ワークライフバランス  
My♡WLB

歴史的な街並みを見に旅行へ。  
美術館や観劇にも行きます!

## 建築

県土整備部 栃木土木事務所  
建築指導担当

津釜 加奈恵

Kanae Tsugama

●異動経歴●

H25～  
住宅課 企画支援担当  
H27～  
建築課 建築指導班  
H30～  
現所属



## 安心・安全・暮らしやすいまちづくりにつながる仕事

### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

主に、建築基準法及び関係法令の確認申請や許認可業務、現場検査の他、一般の方や事業者の方からの相談や問い合わせに対応する窓口業務を行っています。また、定期的に関係部局等と合同で、管内の建築現場や解体現場のパトロールや防災査察なども実施しています。職場の方々はまだめですが親しみやすい人が多く、とても和やかで何でも気軽に話し合える雰囲気なので、仕事がしやすい環境です。

### Q.やりがいを感じる時は?

法律の内容を丁寧に説明し、相手方の理解を得ていくことは簡単ではありません。しかし、その分理解いただけた時にやりがいを感じます。また、以前、地元相談会を実施した際に、知識がなくてどうしたらよいか困っていた方に対し、相手の立場になって親身に対応したところ、解決の糸口が見えたと言ってくれた時は私も嬉しくなりました。

### Q.仕事をする上で心がけていることは?

県が取り組む課題は多様化・複雑化しており、特定分野の知識だけでは対応できないこともあります。技術職としての深い専門知識や経験を身に付けつつ、より多くのことを学んで視野を広げられるよう普段から心がけています。



## 生活に不可欠な電気・水道を支えます

### Q.これまでどのような業務を担当?

県営の水力発電所で発電した電気を安定供給するため、発電施設の維持管理・設備更新に関する技術の検討や関係機関との調整を行っているほか、中長期的な施設更新計画の作成にも携わっています。環境にやさしい純国産のエネルギーで地域に貢献するやりがいのある仕事ですが、県民生活に欠かせないライフラインであり、産業の発展を支える重要なインフラでもあるので、緊張感と大きな責任感も感じます。

### Q.印象に残っていることは?

災害復興派遣として岩手県の津波対策設備(水門等の自動開閉システム)の工事監督を行いました。慣れない土地での生活や工事箇所の多さ、関係機関との調整などに苦労しましたが、人命を守る設備の整備に携われたこと、地元の話をよく聞くことの大切さを学んだことなど、大変貴重な経験でした。

### Q.民間企業との違いは?

県職員の電気職は水力発電をメインとした電気事業や水道事業の他にも、県有施設の修繕、防災行政システムの運用、研究開発、職業訓練指導などもあります。様々な業務を経験することで、スキルアップや視野を広げることができます。



ワークライフバランス  
My♡WLB

週末は家族のシェフに!  
唐揚げの味付けは自信あり!!

## 電気

企業局 電気課  
施設担当

安田 好宏

Yoshihiro Yasuda

●異動経歴●

H23～  
鬼怒水道事務所 施設課  
H26～  
今市発電管理事務所  
板室管理支所  
H29～  
東北三県災害復興派遣  
(岩手県)  
H30～  
現所属





## 総合土木 (土木)

県土整備部 交通政策課  
公共交通担当 LRTチーム

### 山口 裕也

Yuya Yamaguchi

●異動経歴●

- H16～  
大田原土木事務所  
河川砂防部 河川砂防課
- H19～  
都市整備課  
下水道室公共下水道チーム
- H22～  
国土交通省 河川局 河川計画課  
河川計画調整室へ派遣
- H23～  
河川課 企画治水担当
- H26～  
大田原土木事務所 保全部  
保全第二課
- H29～  
現所属

ワークライフバランス  
**My WLB**  
娘と一緒にピアノが弾ける  
ステキなパパになりたい!

## 過去から受け継ぎ、未来につなげる

### Q.現在の担当業務は?

宇都宮市及び芳賀町が導入を進めているLRT整備事業を支援するために発足した新しいチームで、事業が円滑に進むよう宇都宮市や芳賀町、国土交通省などの各機関や庁内各課との調整を主に行っています。また、事業の理解促進のため、様々な機会を活用した広報活動も行っています。

### Q.民間企業との違いは?

建設会社は、社会基盤を整備しますが、その社会基盤の必要性の検討はしません。コンサルタントは、社会基盤の必要性の検討に関わりますが、責任を持って意思決定するのは公務員です。そうやって、先輩方が意思決定し、造った社会基盤の上に、現在の私たちの生活が成り立っています。そして、今、我々が造っている社会基盤も、未来の人々の暮らしを支えることとなります。過去から未来へつなぐ仕事をしていることに、責任とやりがいを感じます。

### Q.育児と仕事の両立は?

県は勤務パターンが3パターンあり、同じ県職員の妻は早番、私が遅番にすることで、子どもの保育園の送迎を役割分担し、朝は私が送り、夕方は妻が迎えに行っています。また、子の看護休暇もあるので、子どもが病気の時なども夫婦で交互に対応しています。県庁は、子育てをするに当たって様々な制度や配慮があります。



そこが知りたい!

## 社会人対象試験

県では、社会人を対象とした試験も実施しています。  
今回は、社会人対象試験で採用された総合土木職の田中さんにインタビューをしてみました。

### Q.何で栃木県庁に転職しようと思ったんですか?

A.前職も公務員だったのですが、仕事をしていく中で、自分が生まれ育った栃木県に貢献したいという気持ちが強くなり志望しました。

### Q.今はどんな業務を担当しているんですか?

A.県内の高架橋の橋梁工事を担当しています。橋長が390mと長く、なかなか経験できない工事なので、色々と勉強しながら監督業務にあたっています。

### Q.職場の雰囲気はhowですか?

A.気軽に話のできるとも良い雰囲気です!仕事の話から他愛のない話まで、楽しく会話ができる風通しの良い職場です。

### Q.これまでの経験を活かしていると思う場面はありますか?

A.前職の技術公務員に勤務する前は、民間企業において、街路や駅前広場の設計のほか、道路改良や宅地造成工事の現場作業等に携わっていました。この経験は、現在の工事監督業務等の際に、とても活かしています。

### Q.どんな時にやりがいを感じますか?

A.工事が完成し、道路河川ができた時の達成感にやりがいを感じます。公務員は道路や河川を整備・管理していくことで社会貢献できることが魅力だと思います。

### Q.社会人対象試験を受ける方にメッセージを!

A.初めは同期の若さに戸惑いますが、社会人対象で入庁した人も増えてきています。これまでの経験を活かしながら一緒に働いてみませんか。



## 総合土木

県土整備部  
宇都宮土木事務所  
整備部 整備第三課

### 田中 祐也

Yuya Tanaka

●異動経歴●

- H26～  
安足土木事務所  
保全第一部
- H29～  
現所属



注目!

平成30(2018)年から

社会人対象試験[行政職]

を始めました!

社会人対象試験は総合土木のほか、行政職も実施しています。

民間企業等での経験やノウハウを活かして、栃木県の更なる発展のために貢献したいという強い意欲と高い志を持つ方を求めています。

## 次世代に夢のあるとちぎの農業・農村を

### Q.現在の担当業務は？

農地整備に係る事業に携わっており、事業地区で農地の利用集積がスムーズに進められるようにマニュアルの作成を行っています。また、農業者がより効率的に農作業ができるよう農地や道路、水路などの生産基盤がどうあるべきかの検討を行っており、特にICTを活用した水管理システムなどの新技術の導入指針を作成しています。

### Q.やりがいを感じる時は？

土地改良区の組織運営の指導等を行っていた際、単に事務的なやりとりをするのではなく、相手と向き合って信頼関係を築くことで、初めて相手の悩みなど本音を感じることが多くありました。農業者や市町と一緒に将来の地域農業の持続や発展に向け、計画を策定したり実施していくことは責任感が求められますが、だからこそそそやりがいがあると感じています。

### Q.仕事を進める上で心がけていることは？

現状に満足することなく、常に広くアンテナを張り、情報収集や新しい知識の習得などに努めています。業務を通して他県の方と交流する機会もあるため、全国にネットワークを広げることができ、常に向上心をもって一步一步前に進んでいけるように心がけています。



## 総合土木 (農業土木)

農政部 農地整備課  
圃場整備担当

### 小枝 伸由

Nobuyoshi Koeda

#### ●異動経歴●

- H16～ 塩谷農業振興事務所 農村振興部 整備課
- H19～ 芳賀農業振興事務所 農村振興部 整備第一課
- H22～ 農地整備課 調査計画担当 (H24.4～9 福島県相双農林事務所へ派遣)
- H25～ 下都賀農業振興事務所 農村整備部 管理指導担当
- H29～ 現所属



## 獣医師

農政部 県北家畜保健衛生所 防疫課

### 白井 幸路

Yukiji Shirai

#### ●異動経歴●

- H20～ 畜産試験場 畜産技術部 肉牛研究室
- H23～ 畜産酪農研究センター 芳賀分場 養豚研究室
- H24～ 県中央家畜保健衛生所 家畜保健部 企画指導課
- H27～ 県北食肉衛生検査所 管理課及び検査課
- H30～ 現所属



## 様々な業務に携わる公務員獣医師!

### Q.これまでどのような業務を担当？

家畜保健衛生所において、様々な家畜伝染病防疫対策をはじめ、動物用医薬品や獣医療法の許認可事務、販売店や診療施設の監視指導を経験しました。食肉衛生検査所では安全な食肉が流通するために必要な食肉検査、畜産試験場(現畜産酪農研究センター)では試験研究など、様々な業務を担当してきました。

### Q.県職員の特徴って？

県職員は、広く色々な仕事を経験したい人に向いている仕事だと思います。人事異動が毎年あるので、一緒に仕事をするメンバーが毎年代わるだけでなく、同じ職場であっても担当業務が代わるなど、中だるみをすることなく仕事に取り組むことができます。また、獣医師の活躍の場としては、私が経験してきた職場のほかにも、動物愛護や食品衛生の許認可事務や指導を行う業務があり、様々な分野の仕事に携わることができます。

### Q.受験を考える皆さんにメッセージを!

どの仕事でもそうですが、仕事をうまく進めるためにはコミュニケーション能力がとても大切だと日々感じます。特に、公務員は県民の方々と直に話をする機会がとても多いので、コミュニケーション能力を磨くことをおすすめします。また、各種関係法令に目を通しておくことも、県職員になってから役立つと思います。



## 私たちが安全で安心な「とちぎ」を実現する

### Q.これまでどのような業務を担当？

交通課では車庫証明や運転免許証発行などの許認可事務のほか標識表示の設置に関する業務を、会計課では遺失拾得・施設管理・支出業務に携わりました。現在は、職員の給与を管理する業務を担当しています。給与の仕組みは複雑ですが、職員の生活の基盤を支えるものなので、全力で取り組んでいます。

### Q.職場の雰囲気は？

デスクワークと言えば静かな職場をイメージするかもしれませんが、上司が話しかけやすい職場作りをしてくれているので、とても明るい職場です。難しい案件に対応する際も、一人で考え込まずに上司や同僚に相談をすることで一緒に対応してくれるので、迅速に問題を解決することができます。また、子育てにも理解がある職場ですので、年次休暇を利用して子どもイベントに積極的に参加したりもしています。

### Q.「協働する職員」として取り組んだことは？

交通課で勤務していた際、地域住民の方々と交通安全運動等の企画に携わっていました。各団体の方々とともに、住民の方に対して安全運転の声掛けや各イベントの企画等を継続して行った結果、警察管区内において1年間交通死亡事故者0という結果を出すことができました。



## 警察行政

栃木県警察本部  
警務部 警務課

### 飯野 博史

Hiroshi Iino

#### ●異動経歴●

- H21～ 茂木警察署 交通課
- H24～ 真岡警察署 会計課
- H25～ 真岡警察署 交通課
- H26～ 大田原警察署 会計課
- H28～ 宇都宮東警察署 会計課
- H29～ 現所属





保健福祉部 こども政策課

## 桐渕 ゆか

Yuka Kiribuchi

昭和62年度採用 総務部 職員厚生課 給付係

H26年 産業労働観光部 経営支援課 小規模企業支援担当 課長補佐

H27年 産業労働観光部 経営支援課 課長補佐 (総括)

H28年 県民生活部 県民文化課 総務主幹

H30年 保健福祉部 こども政策課 課長



### 《皆の意見が活きる職場》

入庁前に抱いていた県庁のイメージは、いわゆる「おかたい職場」、「自由な意見など言える雰囲気はないかも…」と不安な気持ちがあったことを思い出します。実際は、よい意味で大きく違っていました。ある上司から「考えていても口に出さないのは何も考えていないのと同じ」と教えられ、それから、必ず一度は自分の考えを述べることを心がけています。これまで出会った上司、先輩には、拙ない意見に耳を傾けていただき、助言や忌憚のない意見交換の中で、間違いに気づかされ、考えが深まり、それにより育てていただいたと感じています。現在は、誰もが何でも言える職場環境をつくり、柔軟な発想など皆の能力を最大限に引き出すことが私の大きな役割だと考えています。

### 《子育てしている職員をみんなで応援》

県庁では子育てと仕事の両立ができるよう、様々な育児サポート制度が用意されています。さらに知事をはじめ幹部職員がイクボスを宣言して、誰もが働きやすい環境づくりに努めており、効率よく仕事をこなしながら子育てをしている職員をみんなで応援しています。最近、短期間の育休を取得した男性職員が「充実した日々だった」と頬をほころばせる姿に、職場の中でほのぼのとした空気が広がりました。私自身が子育てで苦労したことを思い起こすと隔世の感じがします。

### 《重要な「普通のバランス感覚」》

これまでの人事異動を通じて、年金支給、計画の策定、児童相談、中小企業支援や再生可能エネルギーの活用促進など、様々な分野の業務に携わってきました。その中で、多くの上司や同僚に支えられながら、それぞれの業務で違ったおもしろさや、やりがいを見つけながら仕事を続けることができました。全ての業務に共通して重要だったのは「普通のバランス感覚」。これが県民目線の重視やリスク管理などにもつながっています。

### 《新たな自分》

県庁では、多様な分野、業務を担う中で、気づかなかった自分を見つかります。多くの人と出会い、様々な知識や経験を得ながら、新たな自分を見つけてみませんか。

### 《県土の発展を支える縁の下の力持ち》

県土整備部は、道路河川等の「あって当たり前、無いと困る」人間生活の根幹に関わるインフラ施設の整備・維持・管理を担い、県土の発展を支える縁の下の力持ちの役割を果たしています。総合土木職は、道路河川等のインフラ施設について、計画から設計・施工、維持管理、そして施設の活用により施設周辺がどのように変遷していくかに至るまでの一連の過程に携わりかつ見守り続けられることが大きな魅力です。

### 《完成させる醍醐味》

土木事務所に勤務していた時、道路の開通日までの時間がなく、いろいろな制約がある中、完成に向けて仕事に追われたことがありました。完成間際の現場では幾多の問題が発生し「もう間に合わない」と思ったこともありますが、そんな状況下でも一つひとつ乗り越え、仕事のゴールに到達できた時には何物にも代え難い達成感や満足感を得ることができました。事業を進めていく中で色々な人の協力を得ることができ、完成させる醍醐味を味わい、後々考えると一番充実した日々を過ごした気がします。

### 《“地域の守り手”とともに》

インフラの整備に関しては、“地域の守り手”である建設業界とタッグを組んで進めています。しかし、建設業界は、整備の予算も携わる人数もピーク時の半分、会社の数も6割に減ってしまっているのみならず、3K(きつい・汚い・危険)といわれる業種と考えられています。

現在の職場では、今後、建設業が地域の守り手としての重要な役割を持続的に果たせるよう、建設生産システム全体の生産性の向上を図るべく「i-Construction」を推進するとともに、長時間労働の抑制や週休2日の確保などの働き方改革を進め、新3K(給与・休暇・希望)の魅力あふれる建設業となるよう、業界とともに取り組んでいます。

### 《得意分野を活かす》

県の組織は県土整備部に限らず様々な部署がありますので、個々人の得意分野を活かせる仕事があると思います。我々は、県の目標を理解し、目指すべき方向に向かって協働できる仲間を求めています。皆さんが県職員となって諸課題にチャレンジしてくれることを期待しています。



県土整備部 技術管理課

## 上野 寿幸

Hisayuki Ueno

昭和62年度採用 土木部 都市計画課 計画係

H24年 総合政策部 地域振興課 地域づくり支援担当 副主幹 (GL)

H26年 県土整備部 都市計画課 計画担当 課長補佐 (GL)

H28年 県土整備部 真岡土木事務所 保全部 部長

H30年 県土整備部 技術管理課 主幹





# 県職員Life Q&A

## Q1 給与について教えてください。

**A** 初任給は、右の表のとおりとなっています(平成30(2018)年12月現在)。勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、勤務経験年数や学歴に応じて、一定の基準により加算されます。

要件に応じて、扶養手当、地域手当、通勤手当、超過勤務手当などが支給されます。また、民間のボーナスにあたるものとして、期末・勤勉手当が6月と12月の年2回、合計で4.45ヵ月分が支給されます(在職期間等によって異なります。)

原則として年に1回、勤務成績等に応じて昇給があります。

修士課程者	研究職	221,900円
	医療職(2)	205,800円
6年制大学卒	医療職(2)	212,000円
	行政職	187,200円
4年制大学卒	研究職	203,900円
	医療職(2)	193,200円
短大卒	行政職	164,200円
	行政職	153,000円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用

## Q2 勤務時間や休日・休暇はどのようになっていますか。

**A** 勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分までですが、ワーク・ライフ・バランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的として、一部の職場を除き、オフピーク通勤(時差出勤)を選択することもできます。

完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除き、土曜日と日曜日は週休日となっています。

年次休暇(有給休暇)は年度ごとに20日が付与されます。この他にも、夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇等の特別休暇や、介護休暇・育児休業制度等があります。

## Q3 配属先はどのように決められますか。

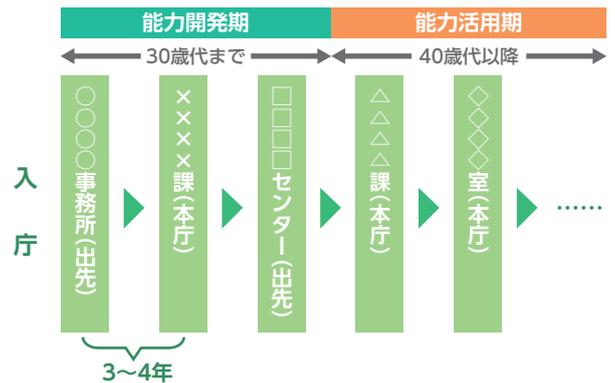
**A** 配属先は、職種(行政職・技術職)や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。

## Q4 人事異動はどのように行われますか。

**A** 職種により違いはありますが、行政職の場合、おおよそ3~4年のサイクルで異動があります。

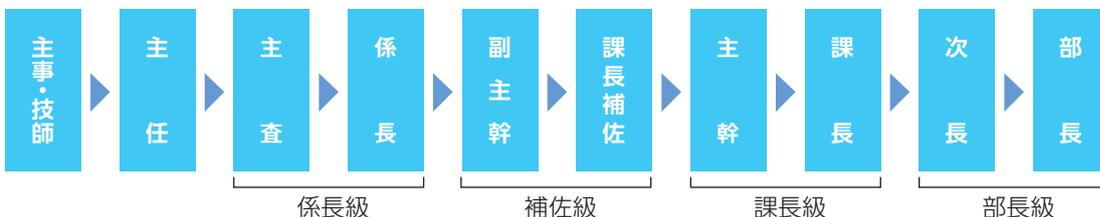
能力開発期では、幅広い能力開発や自己の適性が発見できるよう、本庁・出先機関で異なる分野を経験します。能力活用期では、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視した配置となります。

また、異動にあたっては、毎年1回希望する職場や職務内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについてアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。



## Q5 どのように昇任するのですか。

**A** 昇任は、職員の能力や勤務成績、経験年数を総合的に評価して行われます。行政職も技術職も基本的には同様です。



# 研修制度

県職員には高度の専門性や様々なスキルが要求されますが、それらを養成する研修が充実しており、以下の4本柱で構成されています。

## ■ 研修所研修

### ● 必修研修

新採用職員研修などの基本研修と、各階層に期待される能力を昇進前に開発することを目的とした能力開発研修があります。新採用職員研修では、県行政やビジネスマナーに関する講義等を通して県職員としての基本的な知識やスキルを習得するとともに、グループワークや宿泊研修により、同期入庁者との絆を深めます。

### ● 特別研修

政策形成能力の向上を目指す政策立案研修や、政策の普及啓発やPRの効果的な手法を学ぶ戦略的情報発信研修等を開講しています。



新採用職員後期研修

## ■ 派遣研修

中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚に基づく事業展開など、県内部では経験できない業務に従事し、能力の開発を図ることを目的とした研修を実施しています。研修の種類としては、中央省庁派遣研修、民間企業等派遣研修、県外自治体派遣研修、県内市町村派遣研修があり、いずれも公募制で希望者を募集しています。

### <平成30(2018)年度における職員の主な派遣先>

内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、全国知事会、茨城県、県内11市町  
(株)足利銀行、東日本旅客鉄道(株)、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)、三菱商事(株)、(株)JTB

## ■ 自己啓発支援

県行政に関連する事項について自主的に研究を行う職員のグループに対する研究活動経費の一部助成支援を行っています。また、指定通信教育機関が実施する講座を受講できる制度や、自治大学校等がインターネット上に開設している講座をオンラインで受講することができるe-ラーニング研修も用意されています。

## ■ 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で指導担当者(メンター)等のフォローアップを受けながら、事務処理のスキルを身につけていきます。県は所管する法令・制度が多岐にわたっているため、それぞれの部局等において、所掌する事務に必要な研修を実施しています。

# インターンシップ



先輩との交流会の様子

栃木県では、学生のインターンシップ受入れを行っています。平成30(2018)年度は行政職向け71所属、技術職向け42所属で募集を行いました。

インターンシップでは、資料作成やデータ集計、会議の準備や現地調査など、受入所属によって様々なメニューや実習テーマが用意されています。

県庁を身近に感じ県の仕事を理解する上で、またとない機会です。

参加申込みは在籍する教育機関を通じて受け付けますので、詳しくは経営管理部人事課のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/b02/pref/zaiseijinji/jinji/internship-bosyu.html>



※インターンシップ参加の有無は、職員採用試験の可否には一切関係ありません。

## 平成30(2018)年度参加者の感想

### 《所属実習》

- 職場の業務内容や雰囲気をしっかり感じ取ることができ、とても有意義な期間だった。(行政職向け)
- 配属先で実際に業務体験したことで、内容や仕事の仕組み、流れを理解することができ、また職員の方から他では聞けない貴重な話も伺うことができた。(行政職向け)
- 農業に関わる様々な現場や職場を見ることができ、「働く」ということについてのイメージを持つことができるようになった。(技術職向け)
- 地球温暖化対策などの大きな課題への対応など、新しい知識を学びつつ、新たな事業を企画して県をよりよくすることができる魅力的な仕事だと思った。(技術職向け)

### 《先輩との交流会》

- 働きやすい職場であるということが伝わってきて、みなさんそれぞれに目的を持ち、やりがいを感じていることが分かり貴重な機会だった。(行政職向け)
- ネットだけでは分からない県庁職員の業務、雰囲気、ワークライフバランスなど、ためになる話がたくさん聞けた。(行政職向け)



技術職向けインターンシップの様子

# 採用情報

## ● 試験日程・種目

試験区分※1		実施時期		試験種目			
				筆記試験			□述試験 ※2
		第1次試験	最終合格	教養試験	専門試験	論作文試験	
大学卒業程度	特別枠	4月中旬	6月上旬	○		○	○
	通常枠	6月下旬	8月上旬	○	○※3	○	○
高校卒業程度		9月下旬	10月下旬	○	○ (一部職種のみ)	○	○
社会人対象		9月下旬	11月下旬	○		○	○
身体障害者を対象とする選考考査		10月下旬	11月下旬	○		○	○

お知らせ

### 県職員採用試験が 2019年度から変わります!

#### 大学卒業程度採用試験(行政職)

- 専門試験のない「特別枠」試験を新たに4月に実施します。
- 「通常枠」試験の専門試験における「福祉型」選択コースを新設します。

#### 最終合格発表の前倒し

- 大学卒業程度 8月下旬→8月上旬
- 高校卒業程度 11月上旬→10月下旬

詳細については、受験案内等を必ず確認してください。

※1 記載の試験区分は代表的なものです。この他にも試験や選考を実施しています。

○○卒業程度とは、試験問題の難易度を示しているもので、年齢などの受験資格を満たしている方は、原則学歴に関係なく受験できます。

※2 □述試験は試験区分によって回数が異なります。

※3 行政職に福祉分野の問題を選択できるコースを設けます。

## ● 採用までの流れ 基本的な採用までの流れは以下のとおりです。



※ 任命権者とは、知事、教育委員会、警察本部長などです。具体的な採用に関する事務は、各任命権者の採用事務担当課が行います。

## ● 試験等に関する情報

### 県ホームページ

人事委員会事務局のホームページでは、採用に関する情報を随時更新しています。

募集職種や募集人数、受験案内などの情報はこちらから収集できます。

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>



### ツイッター

栃木県職員の採用試験や説明会等に関する情報をタイムリーに発信しています。

ぜひ、フォローしてみてください。

URL [https://twitter.com/Tochigi\\_saiyou](https://twitter.com/Tochigi_saiyou)



### お申し込みは、電子申請が便利です!

受験申込みは、パソコンやスマートフォンでできる電子申請をご利用ください。電子申請システムはコチラ



URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/moushikomi.html>



# 栃木県職員等過去5年間の募集状況 (平成26(2014)~30(2018)年度)

## 【大学卒業程度】

職 種	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
行 政	65名程度	68名程度	83名程度	82名程度	70名程度
薬 劑 師	5名程度	5名程度	4名程度	4名程度	1~2名
化 学	5名程度	3名程度	6名程度	3名程度	5名程度
農 業	8名程度	11名程度	7名程度	8名程度	10名程度
畜 産	3名程度	1~2名	1~2名	1~2名	2名
林 業	5名程度	6名程度	7名程度	5名程度	5名程度
総 合 士 木	28名程度	23名程度	24名程度	25名程度	20名程度
建 築	5名程度	5名程度	3名程度	1~2名	2名
電 気	3名程度	4名程度	5名程度	1~2名	2名
機 械	1~2名	1~2名	5名程度	—	—
心 理	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	2名
水 産	1~2名	—	1~2名	—	1~2名
警 察 行 政	8名程度	5名程度	6名程度	6名程度	8名程度
小 中 学 校 事 務	21名程度	20名程度	27名程度	22名程度	20名程度

## 【高校卒業程度】

職 種	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
行 政	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
総 合 士 木	—	—	—	—	5名程度
建 築 ( 警 察 本 部 )	1~2名	—	—	—	—
警 察 行 政	4名程度	1~2名	3名程度	6名程度	6名程度
小 中 学 校 事 務	6名程度	5名程度	7名程度	5名程度	4名程度

## 【資格・免許職】

職 種	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
保 健 師 ( 知 事 部 局 )	3名程度	1~2名	5名程度	11名程度	3名程度
保 健 師 ( 警 察 本 部 )	1~2名	—	—	—	—
臨 床 検 査 技 師	—	1~2名	—	—	—
診 療 放 射 線 技 師	1~2名	—	—	—	—
理 学 療 法 士	—	1~2名	7名程度	—	—
作 業 療 法 士	1~2名	—	5名程度	—	—
管 理 栄 養 士	1~2名	1~2名	—	—	—
栄 養 士 ( 小 中 学 校 )	1~2名	1~2名	5名程度	8名程度	6名程度
司 書	—	1~2名	1~2名	—	—
保 育 士	3名程度	—	1~2名	—	—

## 【社会人対象】

職 種	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
行 政	—	—	—	—	5名程度
総 合 士 木	5名程度	5名程度	1~2名	3名程度	5名程度
建 築	1~2名	1~2名	1~2名	—	—

## 【選考考査】

職 種	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)
歯 科 衛 生 士	—	1名	—	—	1~2名
言 語 聴 覚 士	1~2名	—	4名程度	—	—
精 神 保 健 福 祉 士	1名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
職業訓練指導員(電気系)	—	—	—	—	1名
職業訓練指導員(機械系)	1~2名	1~2名	2名程度	2名	—
職業訓練指導員(接客サービス系)	—	—	1~2名	—	—
獣 医 師	7名程度	8名程度	8名程度	13名程度	2名
織 維 工 業 技 術 者	—	—	1~2名	—	—
埋蔵文化財発掘調査技術者	—	—	—	1~2名	—
学 芸 員 ( 日 本 画 )	1名	—	—	—	—
学 芸 員 ( 版 画 )	—	1名	—	—	—
学 芸 員 ( 日 本 美 術 史 )	—	—	—	1~2名	—
博物館資料専門員(無脊椎動物)	—	1名	—	—	—
航空整備士(回転翼航空機)	1名	1名	—	—	—
犯罪鑑識技術者(法医学)	1名	—	—	—	1~2名
犯罪鑑識技術者(化学)	—	1名	1名	1~2名	—
犯罪鑑識技術者(物理)	—	—	1名	1~2名	—
犯罪鑑識技術者(心理)	—	1名	—	—	1~2名
少 年 補 導 職 員	1名	—	—	—	—
警 察 情 報 処 理 技 術 者	—	—	—	—	1~2名
行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	6名程度	5名程度	4名程度	3名程度	3名程度
警 察 行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
小 中 学 校 事 務 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	1~2名	1~2名	3名程度	1~2名	1~2名

この表に記載のない次の職種については、●看護師 栃木県保健福祉部県立病院担当 TEL 028-623-3158  
各担当課にお問い合わせください。 ●児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

# 平成30(2018)年度栃木県職員等採用試験・ 選考考査実施状況

## 【大学卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	560	432	196	83	5.2
薬 劑 師	15	12	5	2	6.0
化 学	43	28	15	5	5.6
農 業	44	36	30	11	3.3
畜 産	9	8	8	3	2.7
林 業	35	26	16	7	3.7
総 合 士 木	58	49	32	22	2.2
建 築	14	11	8	4	2.8
電 気	20	13	8	2	6.5
心 理	15	8	4	3	2.7
水 産	10	9	5	1	9.0
警 察 行 政	58	39	19	8	4.9
小 中 学 校 事 務	237	164	65	20	8.2

## 【高校卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	54	50	15	5	10.0
総 合 士 木	17	17	11	6	2.8
警 察 行 政	56	52	17	10	5.2
小 中 学 校 事 務	34	30	12	4	7.5

## 【資格・免許職】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
保 健 師 ( 知 事 部 局 )	33	28	9	4	7.0
栄 養 士 ( 小 中 学 校 )	49	40	18	6	6.7

## 【社会人対象】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	251	195	40	7	27.9
総 合 士 木	11	8	1	—	—

## 【選考考査】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
歯 科 衛 生 士	4	4	3	2	2.0
精 神 保 健 福 祉 士	6	4	2	1	4.0
職業訓練指導員(電気系)	1	1	1	1	1.0
獣 医 師	9	5	5	3	1.7
犯罪鑑識技術者(法医学)	17	10	5	2	5.0
犯罪鑑識技術者(心理)	21	11	5	0	—
警 察 情 報 処 理 技 術 者	4	3	2	2	1.5
行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	11	8	6	4	2.0
警 察 行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	3	2	2	0	—
小 中 学 校 事 務 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	4	2	2	1	2.0

問  
い  
合  
わ  
せ  
先

## 栃木県人事委員会事務局

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 南館1階  
TEL 028-623-3313 FAX 028-623-3318  
e-mail jinjiin@pref.tochigi.lg.jp